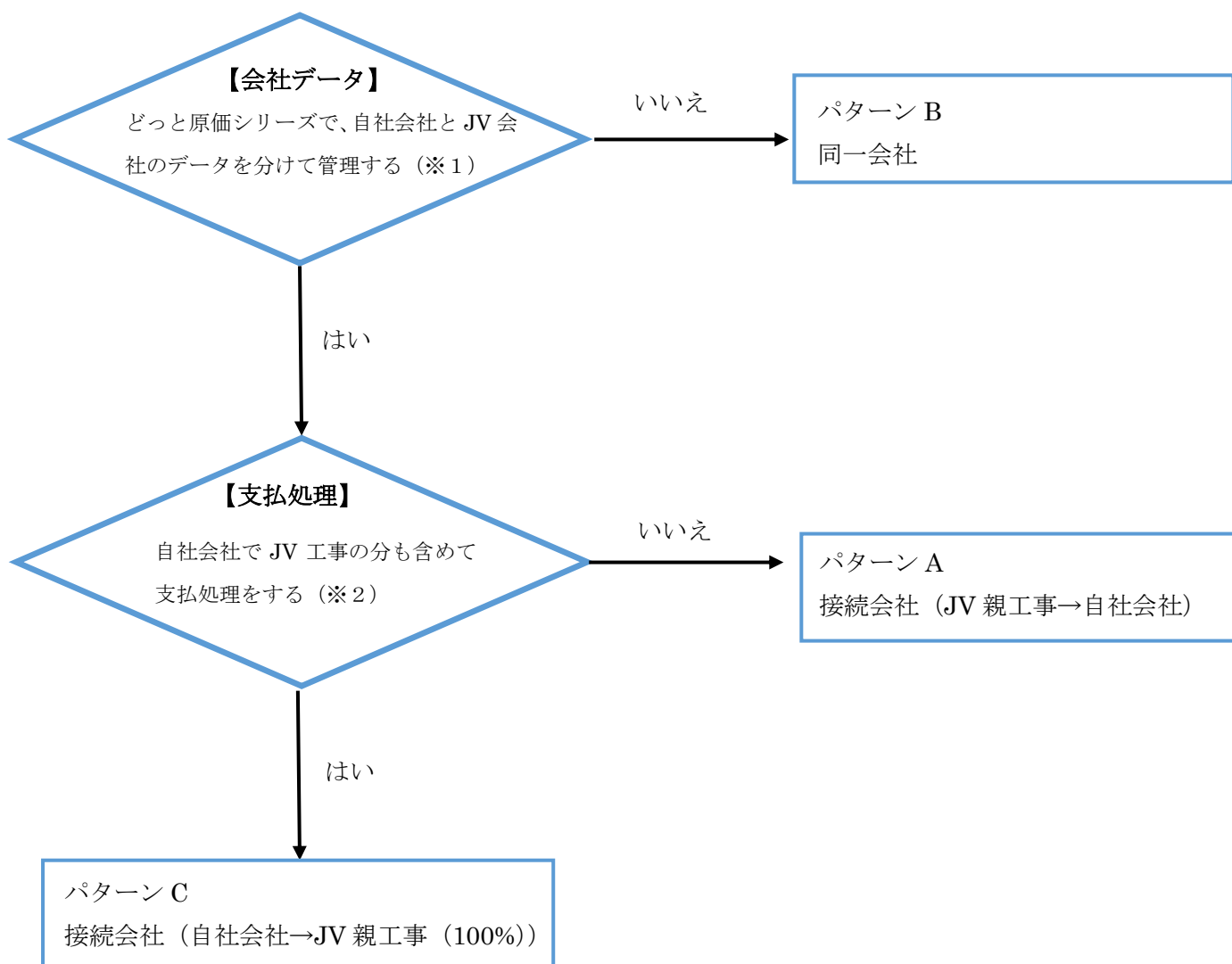


1. 転送方式

JV 会社・自社会社の業務をどう進めていくかにより、推奨する初期設定-JV 情報・転送方式が変わります。



パターン	転送方法	会社データ ※1	支払処理 ※2
A	接続会社 (JV 親工事→自社会社)	自社会社、JV 会社を分けて管理する	自社会社、JV 会社それぞれで支払処理をする
B	同一会社	自社会社のみで管理する	自社会社で JV 工事の分も含めて支払処理をする
C	接続会社 (自社会社→JV 親工事 100%)	自社会社、JV 会社を分けて管理する	自社会社で JV 工事の分も含めて支払処理をする

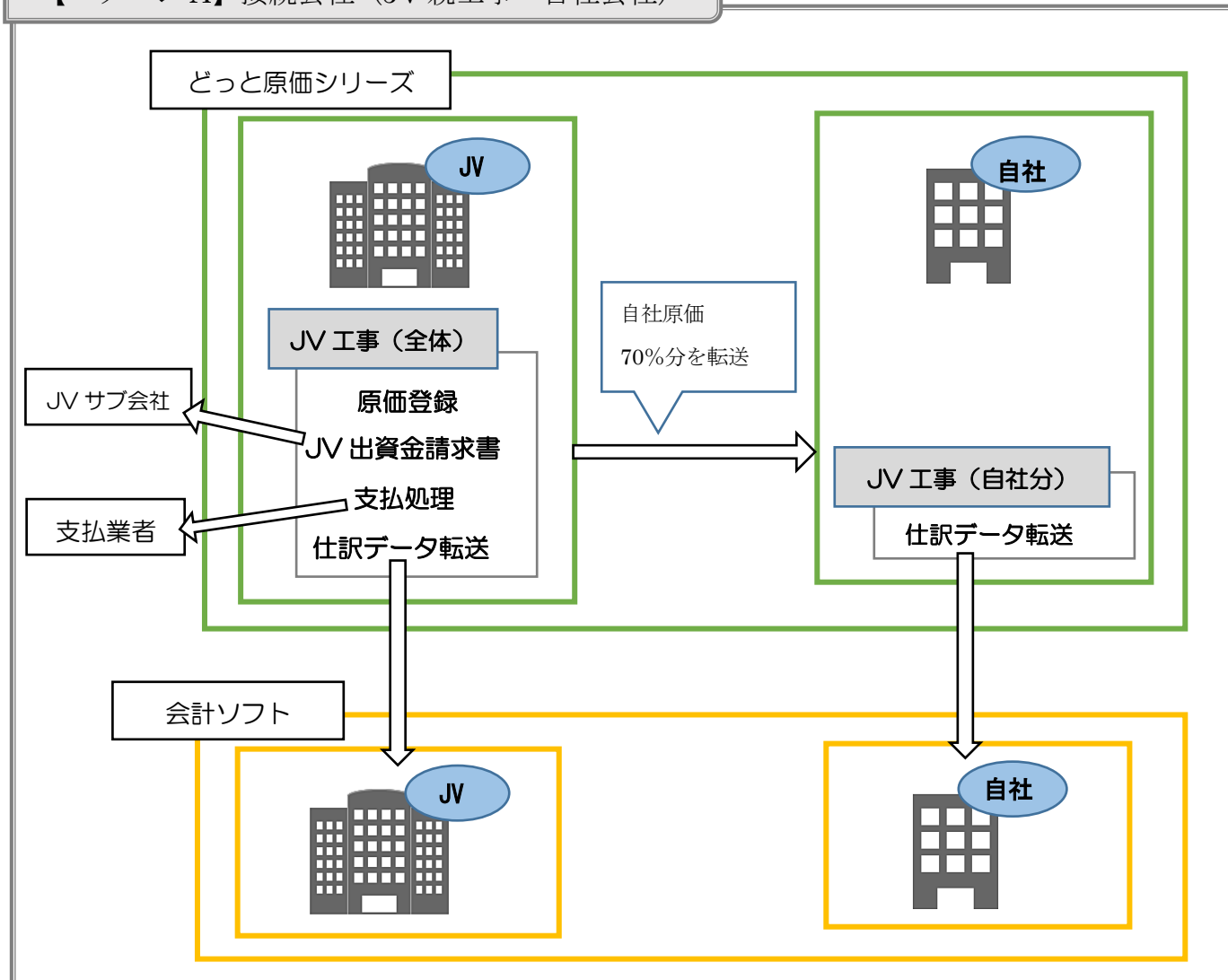
※1) JV 会社でのみ発生する原価がある場合は、会社データを分けて管理することを推奨いたします。

これらのパターン A、パターン B、パターン C を用いて説明します。

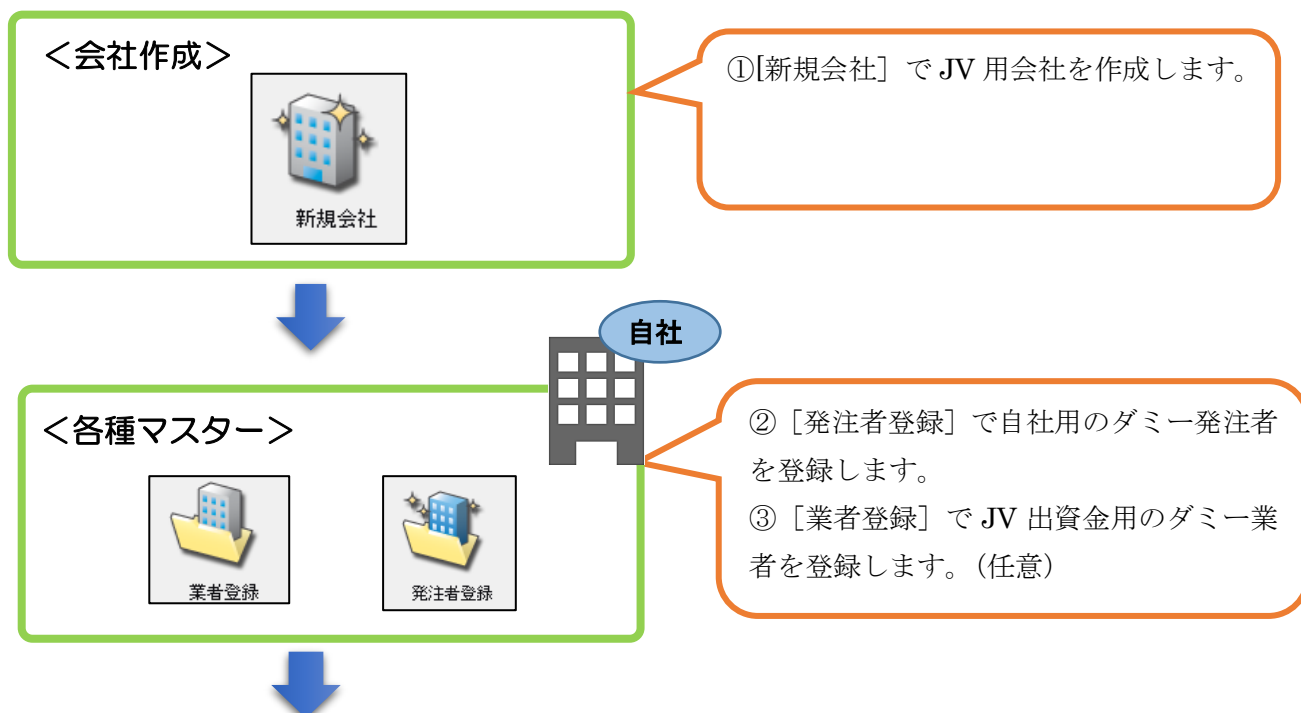
採用するパターンによって処理が異なるため、該当するパターンの手順をご確認ください。

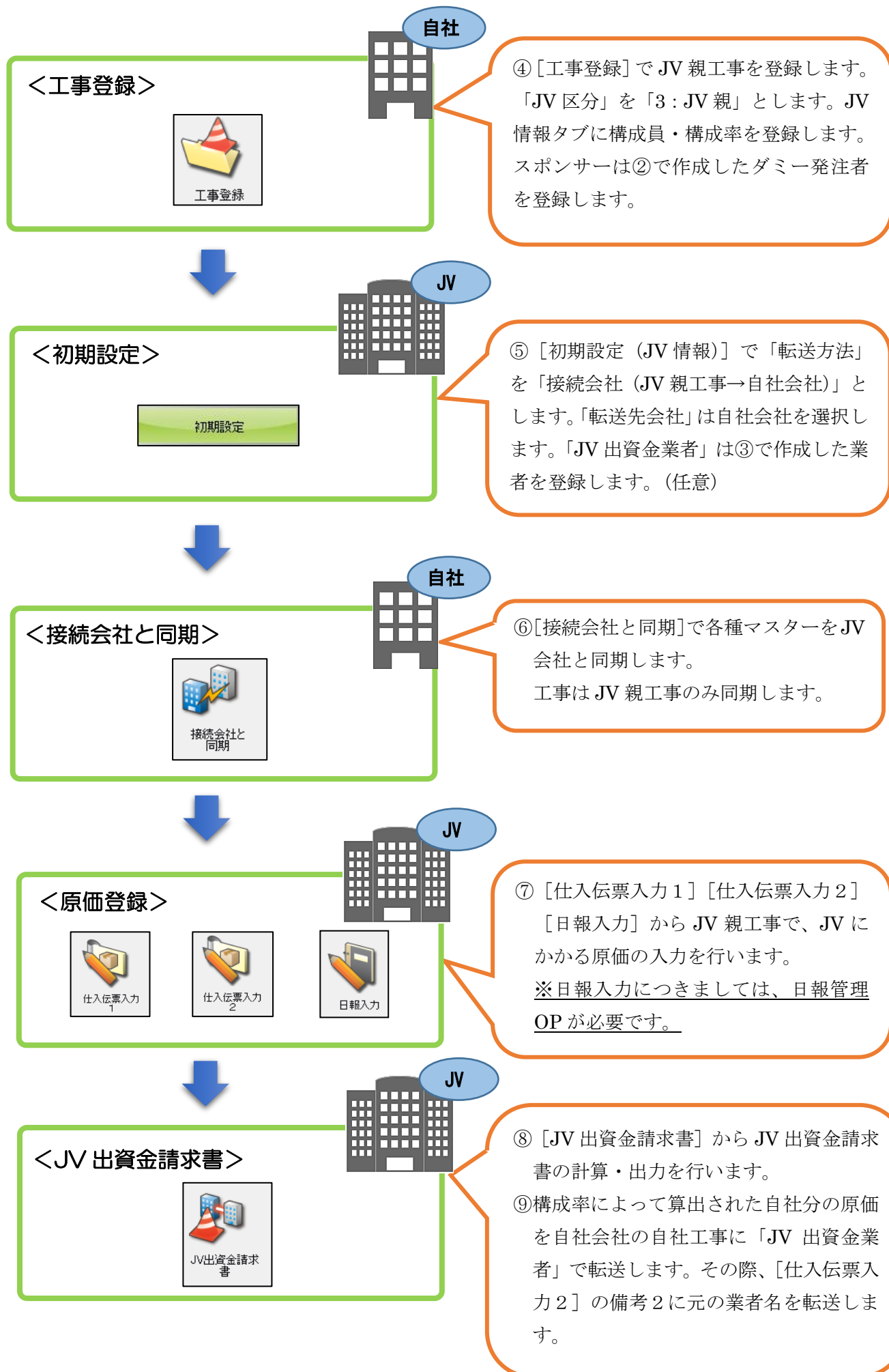
2. 処理フロー

【パターン A】 接続会社（JV 親工事→自社会社）

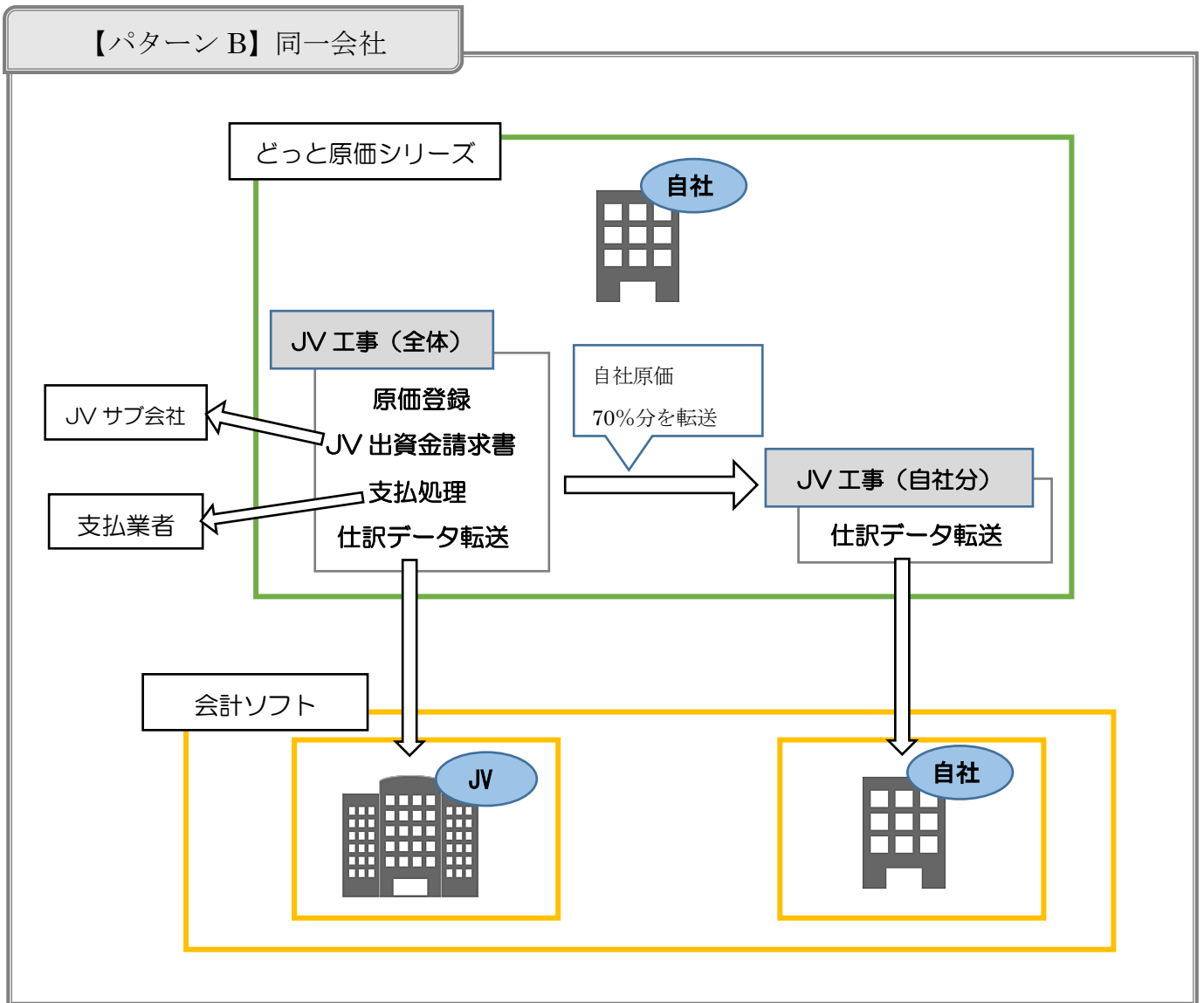


上記フローの操作手順をご説明します。

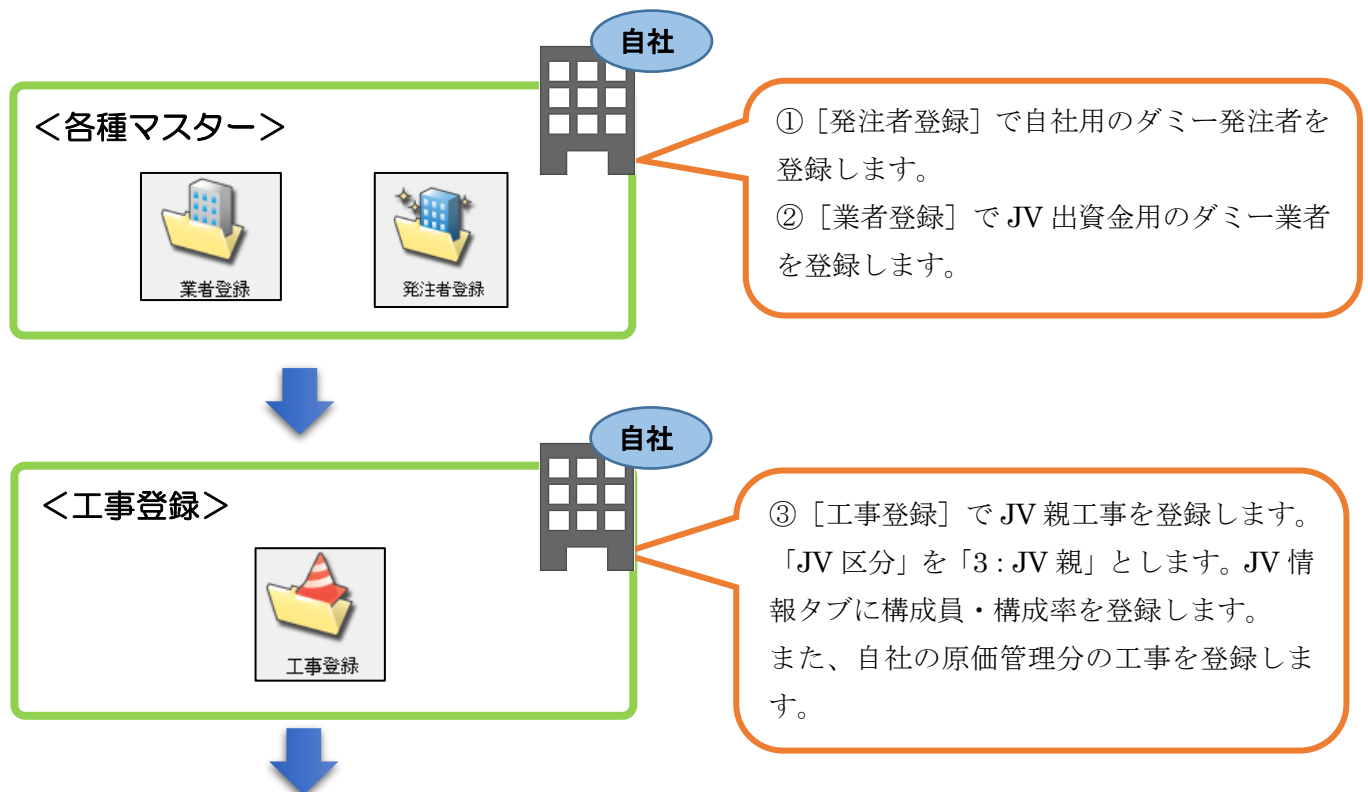


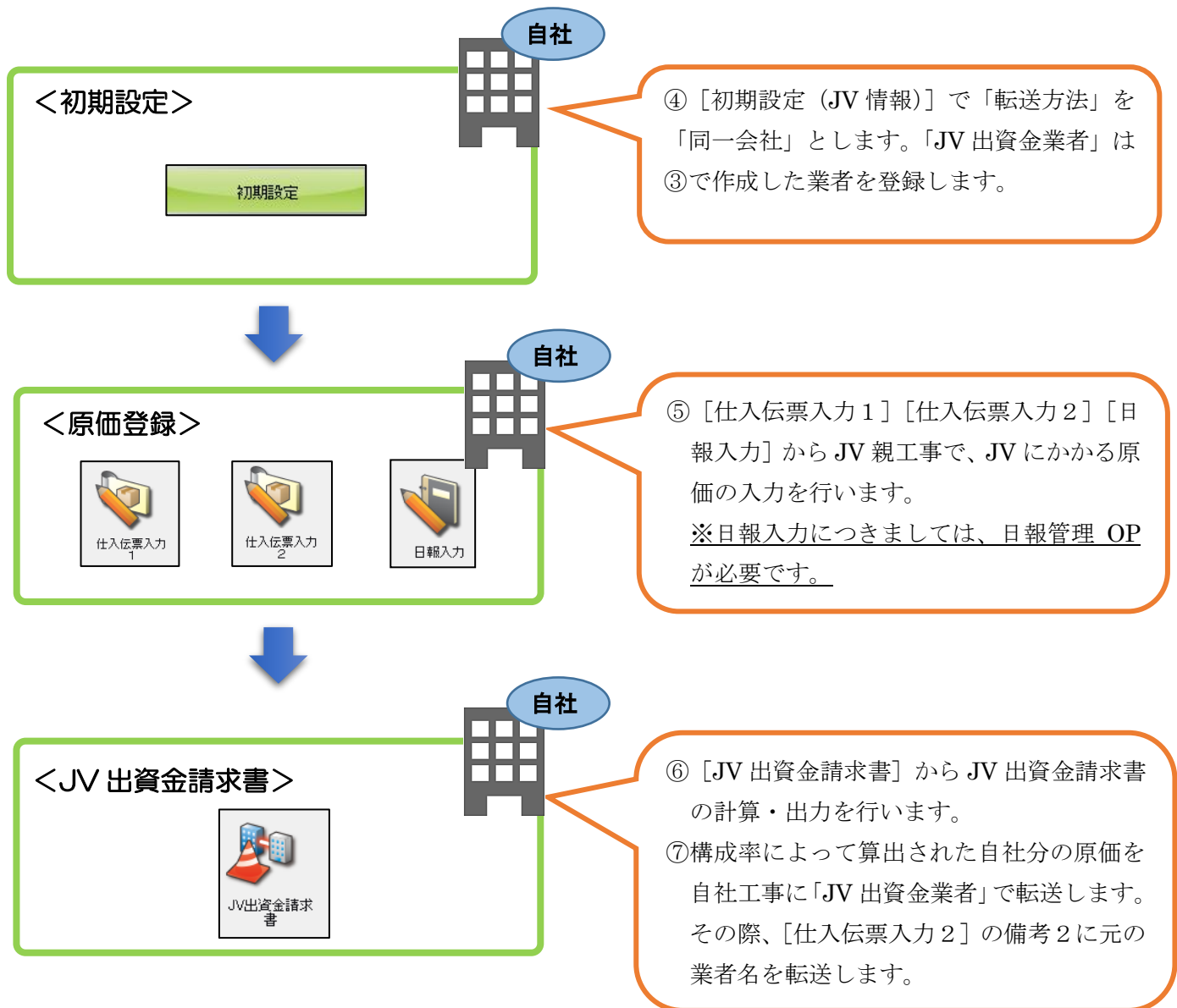


【パターン B】 同一会社



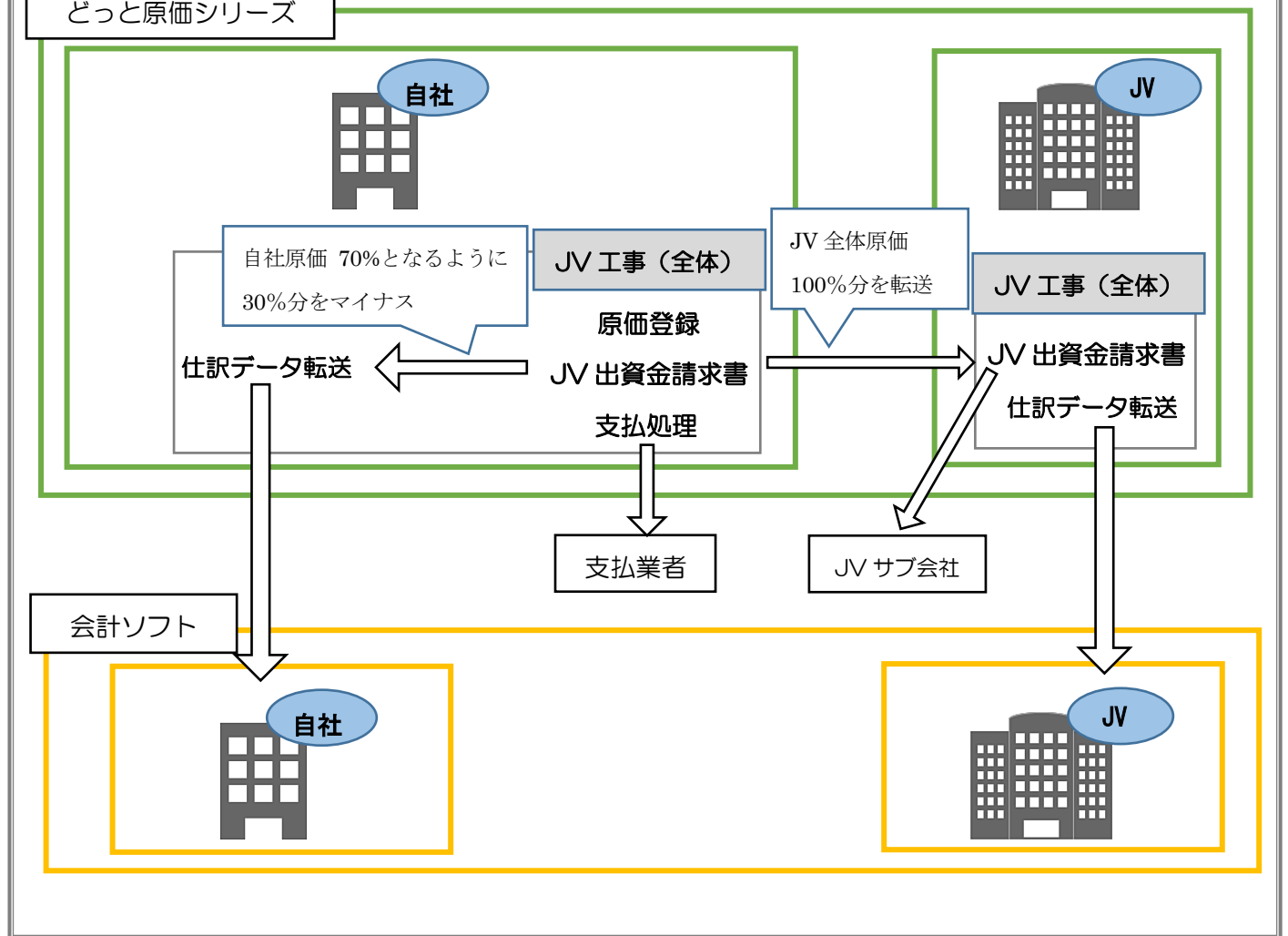
上記フローの操作手順をご説明します。





【パターン C】 接続会社（自社会社→JV 親工事（100%））

どっと原価シリーズ



上記フローの操作手順をご説明します。

<会社作成>



①[新規会社] で JV 用会社を作成します。

<各種マスター>



② [発注者登録] で自社用のダミー発注者を登録します。

③ [業者登録] で JV 出資金用のダミー業者を登録します。

